

漁海況情報第4報 (2019年7月29日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

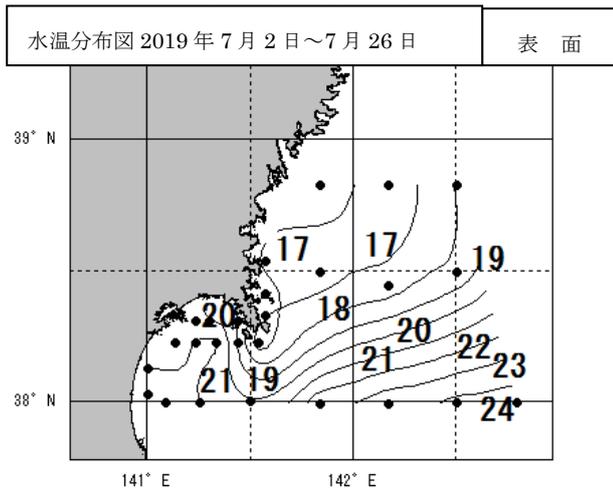
表層水温は38℃ラインで高くなっており、100m水温は142°E以東で低くなっています。

宮城県沿岸の表面水温は16～24℃台、100m深水温は3～11℃台となっています。表層水温は38℃ラインで平年より最大5℃高めとなっています。水深100mでは、142°E以東に冷水が波及し、平年より最大4℃低くなっています。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図]。鉛直断面図からは、成層化が進んでいることが見て取れる一方、142°E以東の水深50m以深に冷水が波及しているのが見られます。[P2. 水温鉛直断面図]。

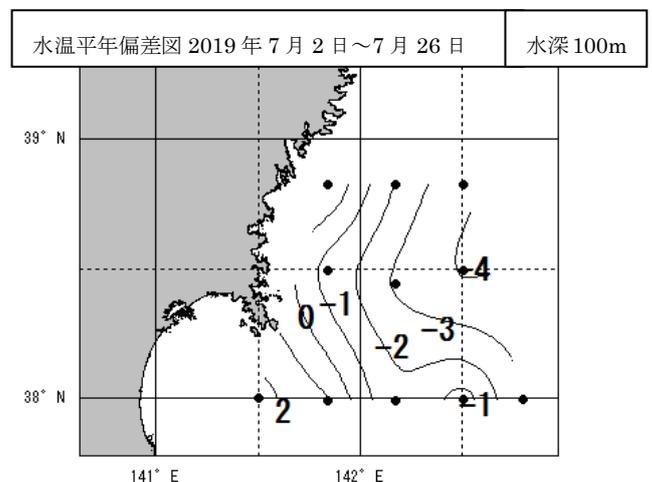
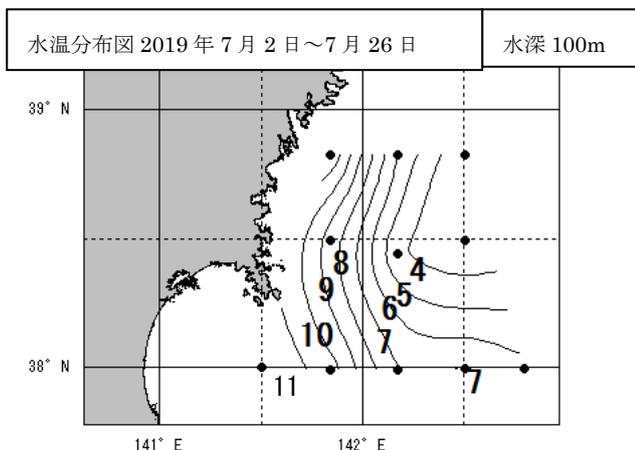
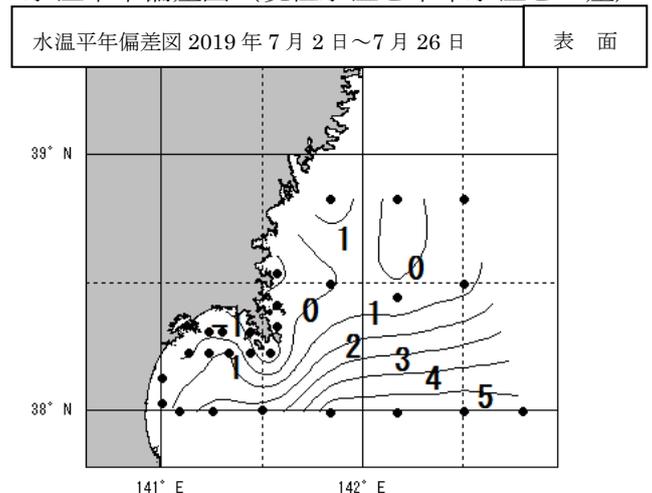
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、20～23℃台の暖水が仙台湾まで、20℃台の暖水が宮古沖まで北上しています。[P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

7月中旬の定地水温は15～22℃台で、歌津でやや高め、桂島・亶理で低め、その他の観測点で平年並みです [P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は3～14℃台で去年より低めです [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図

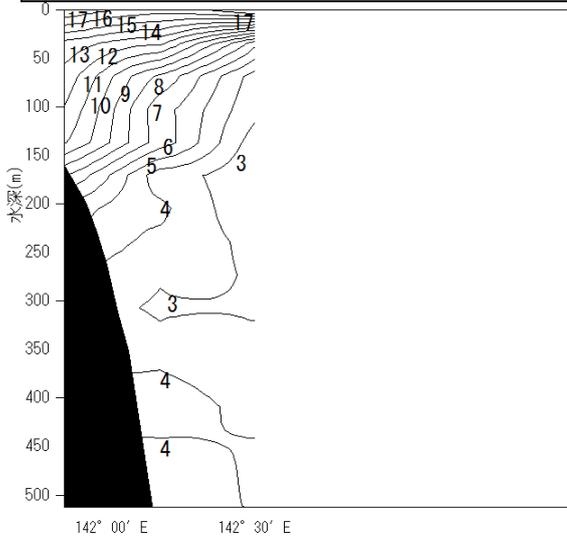


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

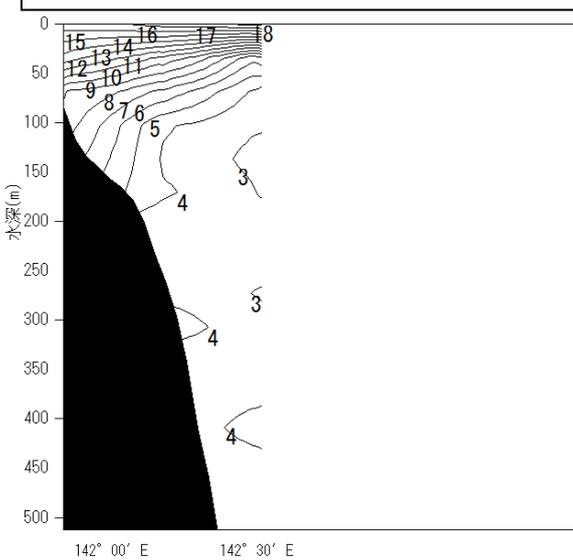


・水温鉛直断面図

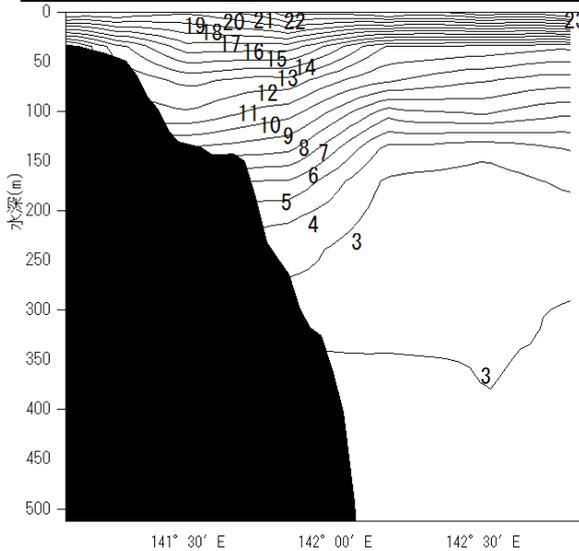
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

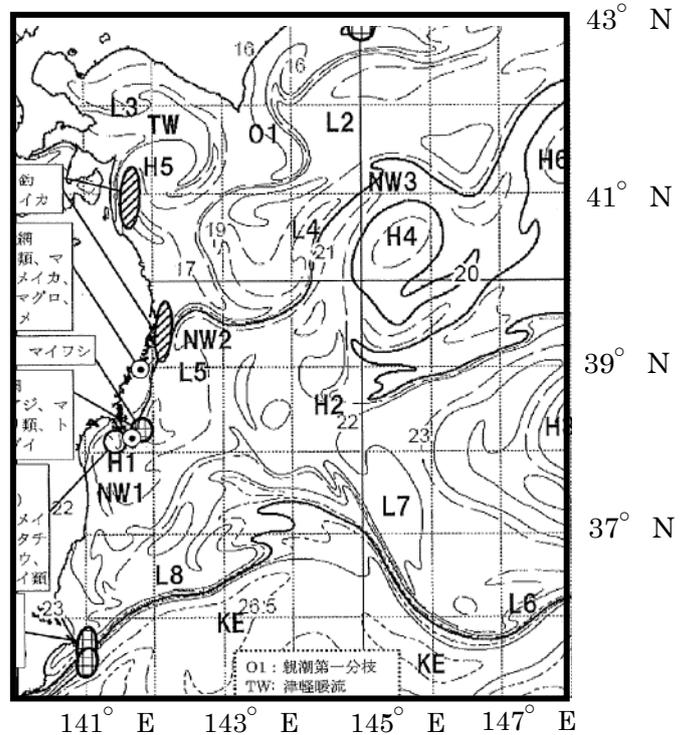


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2019年7月25日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

【海況】 (7月25日表面水温)

- ・親潮は釧路沖南10海里へ後退したが、15~16℃台の冷水は下北~岩手中部沖東20~30海里へ接近。
- ・黒潮続流は常磐沖まで北上後145°E付近で南下し房総沖を東進。
- ・20~23℃台の暖水が九十九里~福島に接岸し仙台湾まで北上。
- ・20℃台の暖水は三陸沖20海里を宮古沖まで北上、さらに岩手~青森沖120~300海里を北上。
- ・17~19℃台の混合水が青森~宮城沿岸に分布。

【漁況】 (7月23日~7月25日)

- ・まき網：1そうまき網は宮城沖と犬吠埼沖でマイワシ主体に、2そう巻網は犬吠埼沖でイナダやマアジを漁獲。
- ・定置網：石巻はサバ類とマアジ主体、大船渡はサバ類とマイワシ主体に水揚。ゴマサバ増加。
- ・カツオ竿釣：黒潮続流南側や金華山沖暖水渦東側の海域でカツオやビンナガ主体に操業、平均8tを漁獲。
- ・カツオ・マグロまき網：東北海域で操業しカツオ主体に水揚。
- ・スルメイカ：釣イカが八戸と大船渡で急増。

・定地海洋観測



	7月中旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	15.6	平年並み	0.0	-5.2
歌津	18.5	やや高め	0.8	-2.4
江島	17.5	平年並み	-0.2	-2.3
田代島	20.7	平年並み	0.0	-1.9
佐須浜	21.4	平年並み	-0.4	-1.8
桂島	22.6	低め	-1.9	-2.5
巨理	21.5	低め	-1.7	-2.6

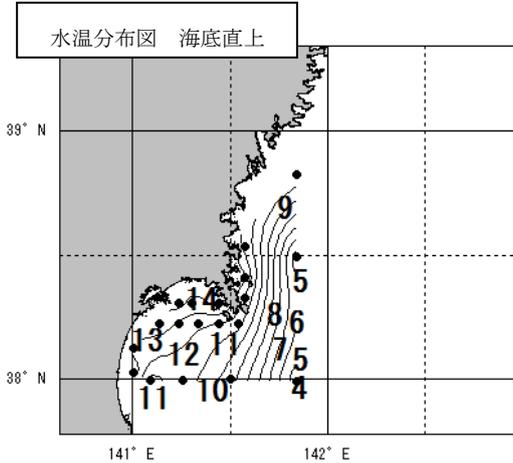
※平年値 岩井崎(過去30年)
 江島(過去30年)
 佐須浜(過去10年)
 歌津(平成28年12月から観測再開)
 桂島(平成24年3月から観測開始)
 巨理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

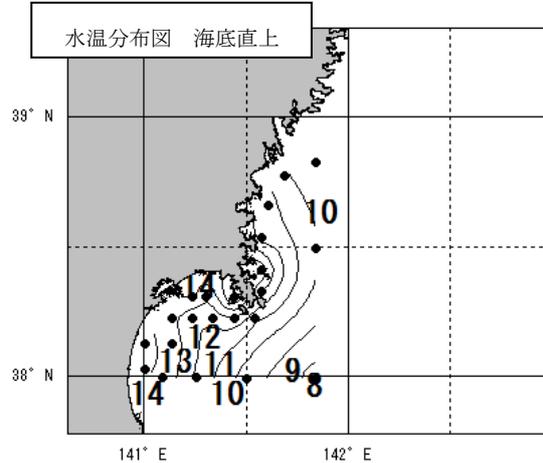
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2019年7月2日~7月22日)



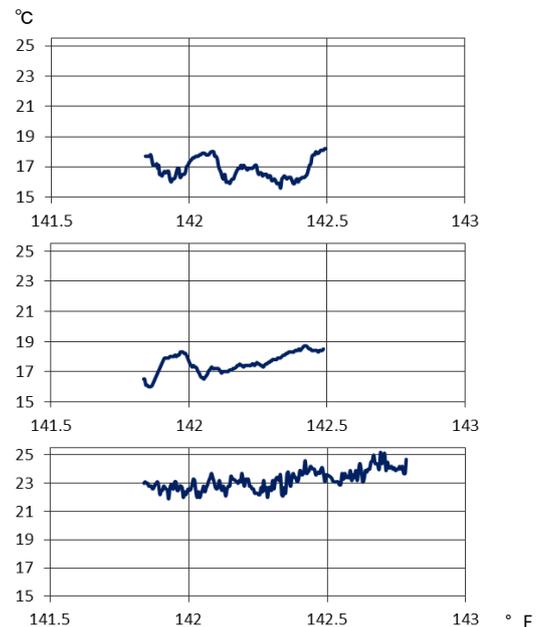
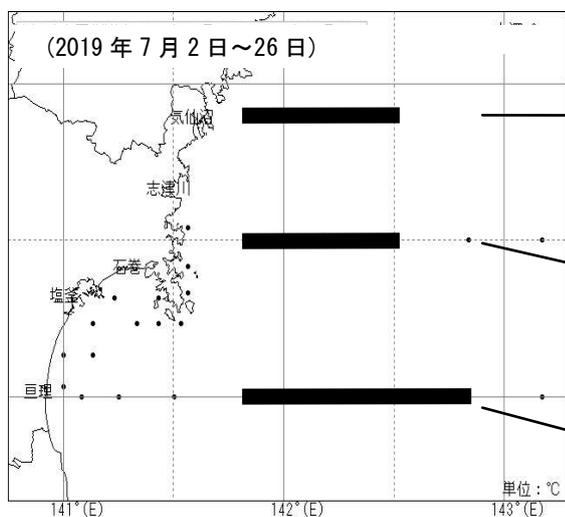
・海底直上水温(2018年7月9日~7月12日)



(※観測水深は500mまでです)

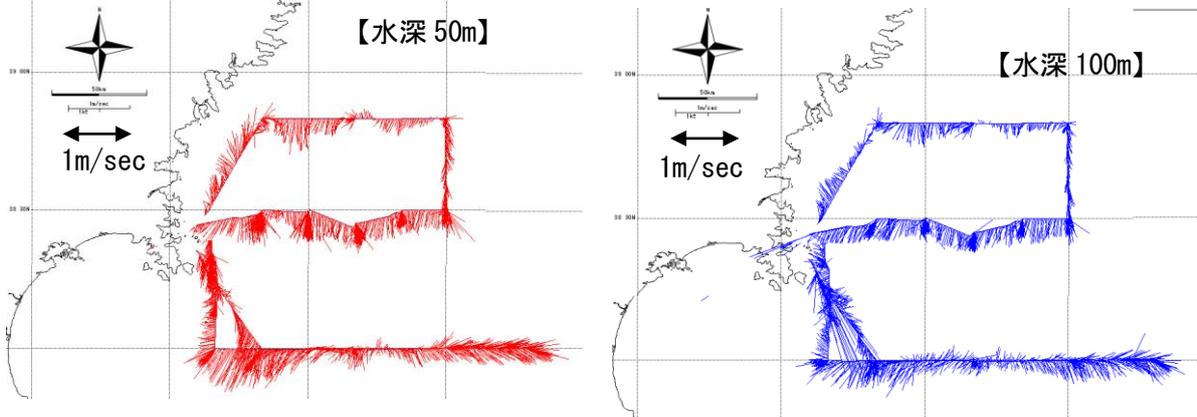
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」による流向流速情報は下記のとおりです。南向きの流れが卓越しています。



4. 漁況

6月の水揚量は前年と比較して、イトヒキダラ、ババガレイ、ブリ、ミズダコなどが増加しています。一方でビンナガ、メバチ、カツオ、クロマグロ、ガザミ、マコガレイ、マガレイ、スルメ、スケトウダラなどが減少しています。

2019年6月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ			149						53		1	203	4%
メバチ									11		16	27	8%
クロマグロ			52		10				0	4	3	69	17%
キハダ			67						11		3	81	107%
カツオ			19						0	0	1	20	2%
サバ類	3762	91	0			341	0				69	4264	80%
ブリ	0	0				301	0			0	42	343	192%
ヒラメ	4	30	0			8	102				70	215	106%
サメガレイ	28	0					0				0	28	92%
マコガレイ	1	15	0				14				9	39	49%
マガレイ	0	3	0				1				0	4	53%
ババガレイ	29	1	0				1				1	32	331%
カナガシラ	2	12	0			10	0				0	25	54%
スルメイカ	49	17	0			4					0	70	59%
ミズダコ	30	67				0	1				27	125	122%
マイワシ			0			4197					299	4497	70%
カタクチイワシ											0	0	0%
マダラ	45	1	0			0	0				74	120	65%
スケトウダラ	10	7				0	0				6	23	30%
イトヒキダラ	418										0	419	929%
ガザミ			0				15				5	20	22%

(単位：トン)

5. 調査船運航計画

みやしお	
8/1~2	沿岸定線調査
8/5~7	沖合定線調査
開洋	
7/30	種ガキ調査
8/1	浅海定線調査